

従来の「実績発表大会」と今後の「活動発表大会」の主な変更点

	全国野生生物保護実績発表大会	全国野生生物保護活動発表大会	解 説
応募資格	・ 小学校、中学校、高等学校、団体（こどもエコくらぶ、緑の少年団、等） ・ 過去2年間の当大会での発表校、本年度の野生生物保護功労者表彰受賞校は応募できない ・ 児童・生徒が中心となって過去複数年、活動を行い、成果を収めた学校を対象とする	・ 小学校、中学校、高等学校（学校内にあるクラブ・委員会等も含む） ・ 過去2年間の当大会での発表校、本年度の野生生物保護功労者表彰受賞校でも応募できる ・ 児童・生徒が中心となって活動を行っているものを対象とする	・ 団体は除外し、学校のみ応募とする  ・ 活動実績、成果は問わない。活動に着手して間もない学校も応募できる
募集対象の活動	野生生物全般（動物・植物）に関する保護活動 (1) 野生生物保護思想の普及活動（野生生物保護の必要性、密猟防止の啓発、野生生物の有益性の啓発宣伝等） (2) 野生生物保護のための環境保全・管理とその効果の検証 (3) 野生生物保護施設の設置とその効果の検証 (4) 野生生物保護のための生態観察または研究 (5) 傷病野生生物の保護活動（「鳥獣保護管理法」や「種の保存法」の許可を得ているものに限る） (6) その他、野生生物保護のために行った活動とその効果	野生生物全般（動物・植物）に関する保護活動 (1) 野生生物を守っていくための普及啓発活動 (2) 野生生物のための環境保全・管理・創出活動 (3) 野生生物保護につながる生態観察または研究活動 (4) 外来種駆除に係る活動 (5) その他、野生生物のために行っている活動	
応募のための提出書類等	(1) 実績発表大会参加申込書 (2) 実績発表大会 活動レポート	(1) 活動発表大会参加申込書 (2) 活動を紹介する動画 (3) 活動の様子が分かる写真1枚	今回から、活動を紹介する3分程度の動画が必要
申込先	各都道府県の野生生物保護行政担当部署	公益財団法人 日本鳥類保護連盟 活動発表大会係	今回からは、応募書類等は連盟事務局に直接に送付
候補者の推薦と大会参加者の選考			
審査基準	① 児童・生徒が自主的に活動しているか。  ② 「親しむ活動」、「理解する活動」、「守る活動」、「広める活動」などが計画的、系統的、定期的に行われているか。また、科学的なデータを集積し、それに基づいた活動になっているか。  ③ 活動結果やその過程によって、「野生生物の保護」、「生息環境の保全」に関する実質的な成果があったか。または、その見通しがあるか。  ④ 組織全体で理解され、実施されているか。また、その活動が、学校、団体団体のみでなく、その地域住民等の意識の向上を促すものとなっているか。  ⑤ 活動が、地元の専門家、団体、行政等と連携、協調したものになっているか。  ⑥ 他の模範となり得る取組みとなっているか。  ⑦ 活動に、独創性、発展性があるか。	① 児童・生徒が自主的に活動しているか。  ② 「親しむ活動」、「理解する活動」、「守る活動」、「広める活動」ができているか。 また、それらが計画性や継続性に配慮して行われているか。 （例）各学年ごとの取り組みを決めている、自分たちの やったこと・学んだことを下級生に伝えている、など  ③ 活動が、「野生生物の保護」や「生息環境の保全」につながっていくものであるか。  ④ 活動が、地元の方々と関わりながら協力が得られるものになっているか。 （例）地元の野鳥専門家・農業者・漁業者を講師として迎えた、地域住民にアンケート調査を行った、地域の集会で活動報告を行い保全の重要性をアピールした、など  ⑤ 活動は、子供ならではの着眼点や創意工夫などが見られるか。 （例）保全対象と関係するかるたを作った、など	
審査方法と発表大会当日について	第一次審査会：各都道府県から推薦のあった3校（小学校1校を含む）について審査を行い、本大会にて発表する10校を選出する  本大会：各学校・団体の発表後、審査会を行い、環境大臣賞、文部科学大臣賞、林野庁長官賞、連盟会長賞、自然環境局長賞、連盟会長褒状を決定する	第一次審査会：応募のあったすべての学校について審査を行い、環境大臣賞（小・中・高）、文部科学大臣賞、林野庁長官賞、日本鳥類保護連盟会長賞を決定する  本大会：審査会は行わない。第一次審査会で選出された小・中・高各3校について、表彰式および口頭による発表を行い、発表後は専門家によるアドバイスをいただくほか、参加校による意見交換会を行う	
表彰について	環境大臣賞……………1校 文部科学大臣賞……………2校 林野庁長官賞……………2校 日本鳥類保護連盟会長賞……………1校 自然環境局長賞……………2校 日本鳥類保護連盟会長褒状……………2校 計10校	環境大臣賞……………3校（小・中・高各1校） 文部科学大臣賞……………2校 林野庁長官賞……………2校 日本鳥類保護連盟会長賞……………2校 計9校	